

概略

本装置は左右に取付けたドラムブレーキを手元のブレーキレバー 1 本で駐車ブレーキをかけたり左右の減速レバーでそれぞれの車輪を減速させることもできる装置です。

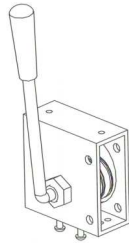
車いす標準装備のタックルブレーキは取り外します。

お願い

本装置で確実なブレーキ力を得るためにドラムブレーキはカラサワ製作所製 HC シリーズをご指定ください。それ以外のドラムブレーキでは車いす JIS 規格の静止力試験をクリアできません。

部品

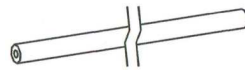
1 ブレーキ本体 1 個



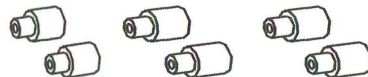
2 ステンレスインナーワイヤー 2 本 2.5m



3 アウター 黒 5m



4 段付アウターガイド 6 個



5 アウターガイド 2 個



6 ワイヤーエンドキャップ アルミ 2 個



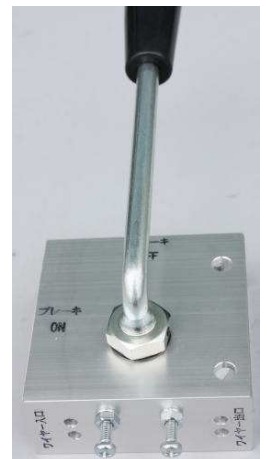
7 L字カバー 1 個



9 減速レバー（自転車のブレーキレバー）2 個

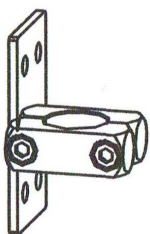


ブレーキ OFF 状態

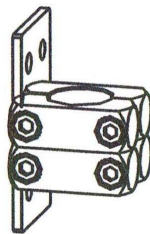


ブレーキ ON 状態

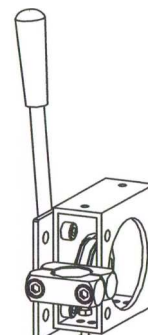
ブレーキ本体を車いすに取付ける金具がない場合、オプションで背パイプに取付けるあと付け金具がございます（シングルとダブルの 2 種類）



シングル（標準）

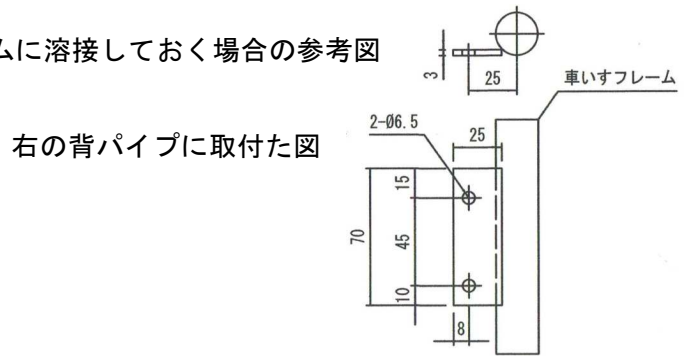


ダブル（強力保持）



シングル取付図

ブレーキ本体取付金具をあらかじめ車いすフレームに溶接しておく場合の参考図

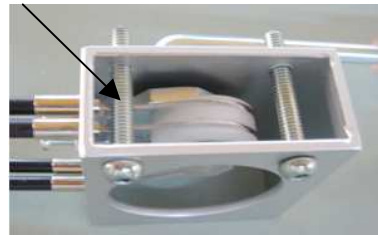


ブレーキ本体取付ボルトの位置に注意

ボルトの良い取付け方



ボルトの悪い取付け方（ワイヤーにあたる）



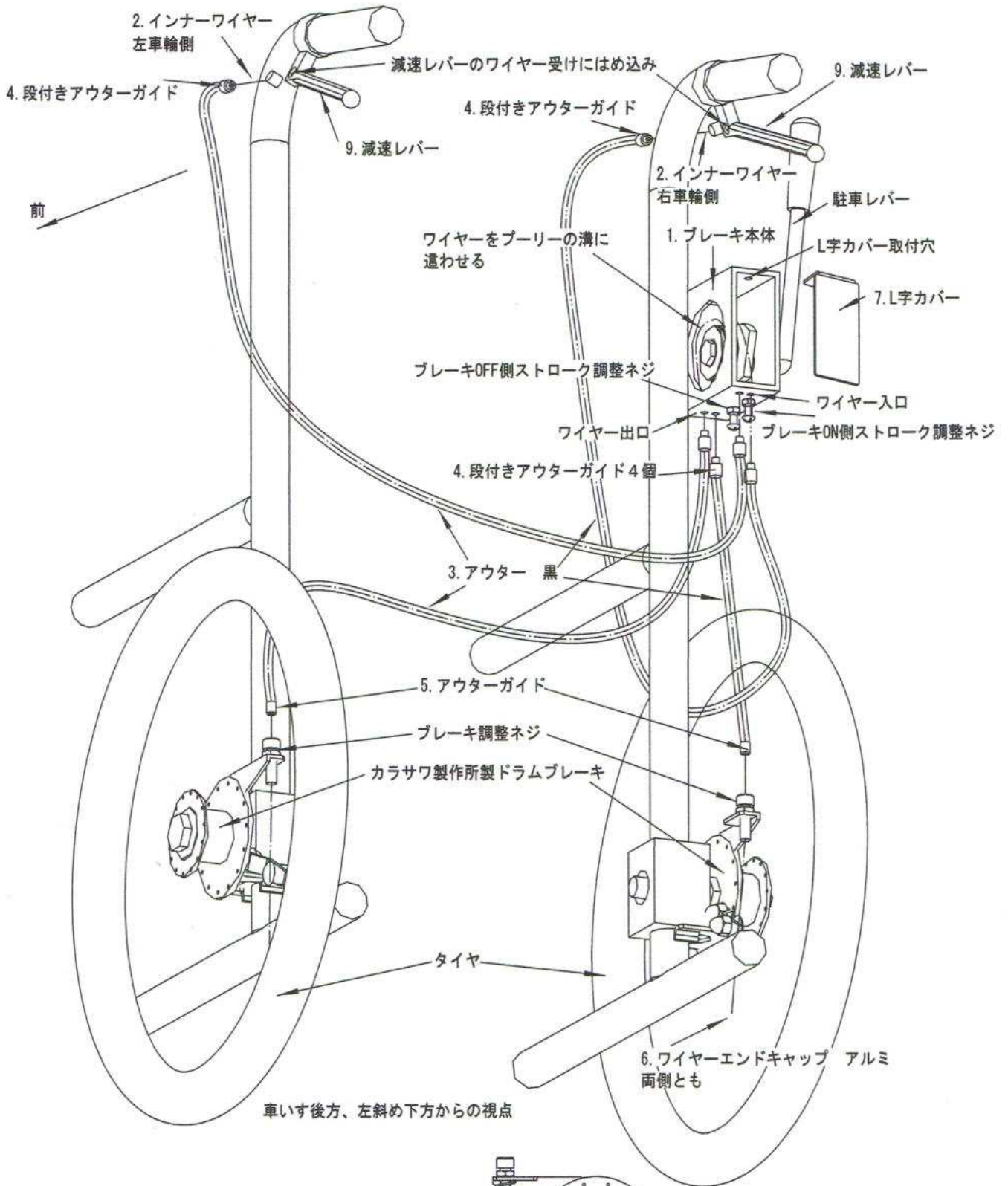
取付手順（配線図参照）

- ① ブレーキ本体を車いすに取付 上図のボルト位置に注意
- ② アウターの長さを決める（距離の長い左車輪側から行う方が良い）  
減速レバーのワイヤー受けからブレーキ本体ワイヤー入口までと、ブレーキ本体ワイヤー出口からドラムブレーキのブレーキ調整ネジまでをそれぞれ仮に這わせてみる。  
折りたたみ、チルト、リクライニングなど可動部を動かし不都合のない経路（なるべく緩やかなカーブになるよう）を探し長さを切断。  
インナーワイヤーが通り易いように切断したアウターの末端を整え図のように配線。  
反対側も同様に配線。
- ③ インナーワイヤーを張る（駐車レバーは OFF 側にしておく）  
まず距離の長い左側から減速レバーのワイヤー受けにインナーワイヤーのタイコ部をはめ込み各部品を通しながら図のようにドラムブレーキへとつなぐ。  
ブレーキレバーで ON OFF を繰り返しワイヤーをなじませ張りを調整する  
ON 時はしっかりタイヤが固定されること（ブレーキ調整ネジで微調整可）  
OFF 時はブレーキの引きずりが無いこと（ブレーキ OFF 側ストローク調整ネジで調整）  
左側が決まったら右側も同様に行う  
ON, OFF とも折りたたみ、チルト、リクライニングなど動作させて確認する  
最終調整、確認は必ず車椅子に人が乗りブレーキの利き具合や各動作をチェックしてください  
ワイヤーの張り過ぎにご注意ください。装置の故障につながります
- ④ グリス塗布（インナーワイヤーが擦れる部位に）
- ⑤ 余ったインナーワイヤーを 4cm ほど残し切断しワイヤーエンドキャップ アルミをペンチでつぶして取付けてください。 L 字カバーを取付て完了

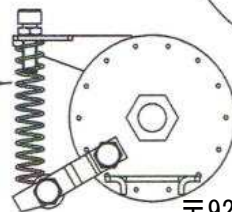
注意

1. 最終調整、確認は必ず車椅子に人が乗りブレーキの利き具合や各動作をチェックしてください
2. インナーワイヤーの交換が必要になった場合は必ずステンレスインナーワイヤーをご使用ください  
スチール製インナーワイヤーとは耐久性が全く異なります
3. アウターの交換が必要な場合は必ずライナー入り（樹脂チューブ入り）をご使用ください  
ライナーなしでは滑らかさと耐久性が全く異なります

# 片手でかかるがる操作車イスブレーキ 右介助者手元 駐車+減速 配線図



ドラムブレーキ標準装備のリターン springs は戻り力が強すぎるので使用しないでください  
例外はワイヤーの経路が複雑でワイヤーの戻りが悪い場合です



川端鉄工所 (株)

〒929-0126 石川県能美市山口町ホ 30-2

TEL 0761-21-0993 FAX 0761-21-7180